

2024年1月26日 損害保険ジャパン様 シニアリスキリング研修  
社会課題解決講座 食品ロスに関する講演アンケート(抜粋)

1) 数字も多かったなので、ダイレクトに伝わってきました。家庭からの削減はすぐできることなので、買いすぎないように、あるものを使い切ることを心がけたいと思います。季節の物は、会話のきっかけになるものもあるし、季節を感じる楽しみもあるものの、廃棄が多いことを知り、悩ましいです。社内にリユースの仕組みが身近にあるので、ここからはじめる、1歩になる方が増えていくような取り組みをしたいと思います。備蓄品を寄付はしているものの、幸い災害がなかった場合、どうするのかまで考えて事前に選定していくのも企業の取り組むことだと感じました。買い物も投票というフレーズがとても印象的でした。

2) 食品ロスに伴い発生するコストの具体的な数値を紹介いただき、自分も食生活において果たすべき責任が大きいと改めて感じた。講師が最後に言っていた「買い物は投票」を実践するには、時間と情報を活用して最適な店を選択できるようにする必要があるのだが、「とにかく安いもの」「残業で時間的余裕がないから手軽に利用できるものを選択するしかない」という言い訳で、これまで実践できていなかった。本日の講演内容をヒントとして、自分に何ができるか考えてみたい。また、今回のテーマを業務に当てはめると、紙を無駄に印刷する「ペーパーロス」の問題に関連すると思われる。「紙に出した方が安心」という自分の都合ではなく、会社の方向性としてペーパーレスを推進していることを理解して、「今やろうしている印刷は本当に必要か」を常に自問し、ペーパーロスによるコストの発生を極力抑えることを心掛けていきたい。

3) 知らなかったこと、認識できていなかったことの学びに繋がりました。例えば、以下の点です。

- ・消費期限と賞味期限の違い
- ・日本の食品ロス総量は世界の食料支援量をも上回ること
- ・Food loss と Food waste の違い
- ・東日本大震災時における食料支援の実態
- ・食品ロスが販売価格という形で最終消費者に転嫁されていること
- ・生ごみ処理機の購入に助成金制度があること

4) 食品ロスについては昔から気にはなっていたものの、具体的に考えたり行動したりということはあまりできていなかった。

今日の話はとてもわかりやすく、食品ロスの問題をご説明いただき、とても理解が深まるとともに、日本全体や会社の動きは大事だし影響が大きいですが、まずは自分自身の行動から変えていかないといけないと強く感じた。

賞味期限を少し過ぎても食べる、時間が経って値引きされたお惣菜を買う、みたいなことは、もったいないとか出費を抑えるためにという思いでやってきたが、これも食品ロス削減につながっていると気づかされ、今までよりも明るく前向きな気持ちでやれるようになるのでうれしいです。新しいこととして野菜保存袋は早速購入し、「てまえどり」も始めました。食品ロスの削減には直接結びつきませんが、CO2 排出削減につながる「生ごみ処理機」の自治体の補助があることも確認し、買うことは決めて機器選定中です。遅くとも今週末には買います。

池上彰さんの番組とかで食品ロスを取り上げたら国民の間でも広がるのになと思ひ、ネットで検索してみたら、いろいろな番組や媒体で定期的に発信されているようですね。

井出さんのような方々の日々の活動が日本を変えていくことにつながると思っていますので、今後も応援させていただきます。新しい知識も増え、考えの幅も広がりましたし、自分自身の行動で地球環境に貢献していきたいという気持ちも高まりました。研修を終えた今のホットな気持ちを忘れることなく、継続的に考え、行動していきます。

5) 各部門のプロフェッショナルの講演をこのように少人数で受講できることはとても贅沢なことだと思いました。食に関することは、即毎日の生活に生きる内容です。

買い物の仕方や消費期限、賞味期限等知識の有無で私たちの行動は大きく変化すると思います。

本日の講演の中で「買い支える」という言葉がとても心に残りました。

スーパーで1回にいろいろな品物を購入することはとても便利ですが、専門店で購入するほうが美味しい、新鮮というところは私も実感しているので、この点はこれからも継続をしていきたいと思ひます。中小企業のお客さまも私どもの保険と関係はたくさんあると思うからです。共存共栄を継続していきます。

6) 井出留美さんの研修を受講して、まず最初に驚いたことは、日本の食品ロスが世界の食料援助量を上回るということ。

家庭用食品ロス 244 万トン日本を日本の人口で割ってみると、約 20kg。こんなに捨てているんだという罪悪感でいっぱいになった。

ごみ処理にかかる費用についてももったいないの一言。

私たちが納めた税金の無駄遣いだし、CO2 増加や地球 温暖化の原因は私たちも大きく関わっていることを知った。

普段のお買い物を必要最低限にする、特売日で安いからといって買いすぎない、職場でもコピーは必要最低限にすることを徹底していきたい。

少し前から、家庭用生ごみを堆肥にするコンポストを始めた。

最近面倒くさいからやめようかと思っていたが、今回の講話を聞いてやはり継続していこうと思った。

よい気づきとなりました。ありがとうございました。

7) 自分の食事はもちろん、主婦として家族分の食品も日常的に購入しているため、食品ロスの問題に対しては身近で取り組みやすいただろうと考えて参加しましたが、受講してみて、日本が想像以上に危機的な状況だと知ることになり、大変ショックを受けました。

講師の井出さんのご説明は、食品がもったいないという観点だけでなく、無駄になった金額や労力が 具体的にどのくらいなのかということを示しておられ、現実味や説得力がありました。

安易な感覚ではとても解決できない深刻な問題だと気づきましたが、

しかし消費者一人一人の心がけや行動なくしては何も変わらないことも確かですので、自分にできることから、家族や友人を巻き込んで始めていきたいと思いました。